

宮城文化服装専門学校 2022年度年度事業報告書

I. 法人の概要

1. 設置する学校：宮城文化服装専門学校

- 学科：(1) 昼間部 (2年) ①服装科 ②ファッションビジネス科
③ファッションデザイン科 ④スタイリスト科
(2) 昼間部 (1年) ①ファッションスペシャリスト科
(3) 夜間部 (2年) ①二部服装科
(4) 夜間部 (3年) ①ファッション技術専攻科

※2022年度卒業生をもってスタイリスト科の停止

※2024年度以降、夜間部の募集を停止

2. 宮城文化服装専門学校 入学定員・学生数の状況

1. 入学定員、学生数の状況 (2023年5月1日現在)

課程	学科	定員	推移	2020	2021	2022	2023	2023年度
昼間部	服装科	15	入学	20	13	10	14	昼間部 1年生合計 43名 2年生合計 34名 3年生合計 10名 合計87名
	Fビジネス科	15		6	13	16	12	
	Fデザイン科	10		11	13	14	17	
	スタイリスト科	0		5	6			
	Fスペシャリスト	10		0	6	13	10	
	合計			42	51	53	53	
	服装科	15	在籍	12	21	11	8	夜間部 1年生合計 4名 2年生合計 6名 3年生合計 2名 合計12名
	Fビジネス科	15		7	5	8	12	
	Fデザイン科	10		8	9	14	14	
	スタイリスト科	10		2	5	5		
	Fスペシャリスト	10						
	合計			29	40	38	34	
	服装科	15	卒業	5	12	19	10	全体合計 99名
	Fビジネス科	15		9	5	4	7	
	Fデザイン科	10		0	6	8	12	
	スタイリスト科	10		1	2	5	13	
	Fスペシャリスト	10		0	0	6	3	
	合計			15	25	42	45	
夜間部	二部服装科	20	入学	2	5	7	4	全体合計 99名
	F技術専攻科	10		1	4	1	2	
	合計			3	9	8	6	
	二部服装科	20	在籍	5	2	4	6	
	F技術専攻科							
	合計			5	2	4	6	
	二部服装科	20	卒業	5	6	1	1	
F技術専攻科	10	1		1	3	5		
合計		6		7	4	6		

2. 教職員の状況（2023年5月1日現在）

(2)	役職区分	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
		専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
教 職 員	校長	1		1		1		1	
	副校長	1		1		1		1	
	教員	4	12	4	12	5	10	5	10
	法人職員・助手								
	事務職	3		4		4		4	
	小計	9	12	10	12	11	10	11	10
	合計		21		22		21		21

II. 2022年度事業の概要

1. 2022年度事業計画に対する実施状況

(1) 仙台へアメイク専門学校との連携

- ①協同できる事業等は可能な限り協同し、学校法人守末学園としての評価を高めていく
⇒入学式、卒業式の合同開催。広報活動における連携の実施。
- ②新型コロナウイルスの感染予防を考慮しつつ、学校行事、授業、広報活動等共催できることは、相互に協力していくことにより、効率性を高めていく
⇒①と同様
- ③その他収益事業に関する一切（小売業）
⇒滞りなく実施

(2) 新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、企業実習の継続及び強化

- ⇒株式会社ワールドストアパートナーズとの連携による企業実習の実施
ブックオフコーポレーション株式会社との連携による
ファッションショー等の実施

(3) 服装科を中心とした縫製工場による縫製技術の指導の取り入れ

- ⇒校内にて卒業作品プレゼンテーションを実施。
縫製工場の技術者を招き、批評を依頼。

(4) 寄付行為に定める人材育成を目的とする事業に関する一切

- ⇒滞りなく実施

(5) 新型コロナウイルスに対応した授業計画の作成

- ⇒滞りなく実施

(6) オンラインを利用して海外の服飾学校教員による指導の継続

- ⇒約1ヵ月に渡り、オフラインにて実施
イギリス：バシルカルダシス先生（卒業制作）11月2日～28日

2. 財政計画（投資と抑制）

(1) 収入に対応した設備投資及び経費の削減

- ⇒実施

(2) 学生数増加に伴い、非常勤講師の授業時間を再構成

- ⇒実施

(3) 令和5年度入学生に関して令和4年度から減少することなく学生募集を実施

- ⇒上記「1. 入学定員、学生数の状況（2023年5月1日現在）」参照

3. 施設設備整備

- (1) 学生数の増加に伴い、マシン・パソコンを増設

⇒実施

- (2) 老朽化した授業設備の新調

⇒マシンは15年以上経過するものも多数あり、修理しようにも部品の製造が終了してしまっている。今後を考え、毎年数台ずつ新しいマシンを購入し入れ替えを検討。

2022年度	No	事業の種類	数量等	予算額 (単位:円)	決算額 (単位:円)	資金源泉	摘要
	1	修繕費	総額	200,000	75,434	自己	マシン・アイロン等修理
2	設備費	総額	1,500,000	111,881	自己	グリーンボード7枚	

4. 修繕

- (1) 教育上必要な機材（マシン・アイロン等）の修繕を行う

⇒実施（「3. 施設設備整備」参照）

5. 学生募集活動

- (1) 募集定員維持を目標として効率よく効果的に広報活動を実施

⇒昨年度に比べると徐々にではあるが進学ガイダンスの開催回数の増加が見られるが、コロナ以前には戻らなかった。その中で実施可能な範囲で仙台へアメイク専門学校と連携し広報活動を実施

- (2) 令和4年度の新入生は、昼間部53名、夜間部7名、進学者数昼間部38名、夜間部4名
教室の都合上在籍数増加は困難な為、令和5年度も引き続き在籍総数の維持を目標とする。

⇒スタイリスト科の募集停止により学生数の減少が予想されたが令和4年度（昼間部）51名に対して53名の入学生と減少は見られなかった。しかし、令和6年度より夜間部の募集を停止するため、引き続き広報活動に尽力したい

- (3) 仙台へアメイク専門学校との統合による連携の機会を活かし、入学検討者に広く告知を行う

⇒（1）と同様

- (4) 夜間部の学生募集の広報を工夫し、学校の特徴と優位性を生かした募集を行う

⇒実施

6. 教職員研修

- (1) 学内での研修会を行うと同時に、外部の教員研修会等に参加

⇒宮城県専修学校各種学校連合会主催による研修への参加

7. 奨学金

- (1) 公的奨学金、民間の奨学金、新型コロナウイルス関連の助成金等の手続きに関して
学生を支援する

⇒実施

8. 2021年度 行事報告

(1) 別紙資料のとおり

9. 2021年度 就職状況報告

(1) 別紙資料のとおり

10. 2021年度 検定試験受験状況報告

(1) 別紙資料のとおり

Ⅲ. 財務概要

(1) 別紙資料のとおり